



新発田市立
加治川中学校
3学年便り
第54号
文責 石井
11月10日発行

パートリーダーの力持ち！②

最後の桜加祭

2組 阿部 敬太 さん

僕は、今回の桜加祭でパートリーダーを務めました。今回が自分たちにとって最後の桜加祭でした。なので、今までで一番の最高にしようとするみんなと決意しました。僕たちの歌った「大地讃頌」と「Hail Holy Queen」は、今までの合唱と比べ、とても難しく、僕はテノールパートだったのですが、最初は全く音程を合わず、とても苦労しました。テノールの難しいところは音程だけではなく、声変わりの僕たちの時期にはけっこうきつい高い声をださなくてははいけませんでした。そんな中、僕は、「常に自分から行動すること」の大切さに気付きました。周りに合わせるのではなく、自分から変えていくことで、パート全体がだんだん良い方向に向かっていったと思います。本番は、金賞はとれませんでした。間違いなく今までで一番最高の合唱になったと思います。3年2組のこのメンバーで最後の合唱ができて本当に良かったです。

最後の桜加祭

1組 中村 優那 さん

私は、中学校生活最後の桜加祭で、パートリーダーをやりました。私はアルトのパートリーダーでした。アルトは、音程がとても難しく、最初は本当にできるのかなと不安でした。でも、みんなで協力して「この音、どういう音なの？」などと話し合っていました。ハレルヤの全パートが歌うところは、とても苦戦しました。同じところを歌っているパートがないので、目印にするのがなく、覚えるのが大変でした。でも、本番最高の合唱ができてとてもうれしかったです。録音したのを何回も聞いて改善してがんばりました。本番で金賞を取って本当にうれしかったです。楽しく歌えて、最高の桜加祭になりました。最後の桜加祭みんなと歌えて本当に良かったです。



当日の直前練習！完成度が高い！どちらも！



3年2組の金賞

2組 五十嵐 美音 さん

私は、今回3度目のパートリーダーを務めました。私が、今年頑張ったことは2つあります。1つ目は、声の音量です。ソプラノは高い声を出すので、声が小さくなってしまいます。しかし、ソプラノのみんなで話し合いしながら、どんどん大きい声を出せるようになりました。2つ目は、強弱です。Hail Holy Queen は、手拍子をしながら歌うので、強弱がつけづらいところがありました。ですが、楽譜にしるしをつけたり、タブレットで撮影してみて、みんな改善点を見つけたりしました。桜加祭当日では、みんな思いをひとつに楽しく歌うことができました。残念ながら金賞を取ることができませんでしたが、私の中では、3年2組も金賞をとれたと思います。最後に最高の桜加祭にすることができ、とても良かったです。

桜加祭を終えて

1組 田村優奈さん

最後の桜加祭を終えて、本当に難しい曲にチャレンジしていたなと思いました。ソプラノは高音を出す場面が多くあったり、人数が少なくて声量が足りないなどの課題がありました。そんな時は、同じパートの人とたくさん話し合い、意見を出し合いました。みんなによりよい合唱を目指しました。課題が多くあって、あきらめてしまいそうにもなりましたが、パートのみんなで励まし合い練習に取り組みました。桜加祭本番数日前の練習では、迫力ができてだんだん形になっていきました。ソプラノのみんなの一つの歌声になったらいいなと思っていたので、本番歌ったときは、緊張もしましたが、金賞がとれてすごくうれしかったです。



大学院生からのアドバイスで、合唱の完成度がグンとアップ！1組は、ブレスの速さと遠くに吐くことで、最初の出だしに迫力が！2組は、ハーモニーの調和の度合いをあげたことで、本当に笑顔になるくらい、心地よい歌に変身しました！大学院の皆さん、ありがとうございました！